

2. 国際医療薬学教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2020年（令和2年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<富山大学>

○ ニュージーランド語学研修

- ・学部生を対象として、ニュージーランドでホームステイをしながらの語学研修を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。

○ 南カリフォルニア大学における臨床薬学研修

- ・学部生及び大学院生を対象として、南カリフォルニア大学でのPharm Dコースの一部を体験する臨床薬学研修を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。

<金沢大学>

○ 国際医療人育成プログラム

- ・学部生及び大学院生を対象として、金沢大学の環境と健康に関する豊富な研究・教育における実績を活かして、1) 疾病を誘発する環境要因を明らかにし疾病予防に結びつけるための高度な研究力の養成、2) 日本人学生も含めた協同学習による国際コミュニケーション能力の涵養、3) 国際機関や各国政府・自治体、研究機関、企業等で環境計測、健康影響評価、予防施策を実践・指導できる人材の育成を目的とした教育研究プログラムを実施した。

○ 短期留学プログラム

- ・学部生を対象とした単位認定プログラムとして、英語力を伸ばし、専攻に関わるグローバルな視野を広げることを目的とした短期留学プログラムを計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。
- ・本プログラムは、1) 英語によるコミュニケーション力の醸成、2) 海外における薬学教育の理解、3) 英語プレゼンテーションの実践、4) 異文化体験を目的としたものである。

<静岡県立大学>

○ 薬学英语プログラム

- ・学部生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による薬学領域における英語コミュニケーションを習得する教育を実施した。

○ イングリッシュリサーチプレゼンテーションプログラム

- ・学部生及び大学院生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による薬学研究発表を英語で行う際の実用的なトレーニングを実施した。
- ・学部生は自ら行ってきた卒業研究に基づいて英語での発表資料の作成と発表練習を行った。

○ 科学英语プログラム

- ・大学院生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による国際学会での発表支援をカリキュラムの中で実施した。

<岡山大学>

○ フィリピン共和国における高度先導的薬剤師研修プログラム

- ・学部生及び大学院生を対象として、徳島大学と連携して、発展途上国での薬学教育および薬剤師業務の高度化に貢献できる国際性に富んだ高度先導的薬剤師の養成を大きな目標として掲げ、フィリピン・University of San Carlos（USC：岡山大学と大学間交流協定を締結済）における5日間の研修プログラムを計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。

<広島大学>

○ 米国薬学部臨床実習研修

- ・学部生及び大学院生を対象として、テネシー大学、マーサー大学を訪問し、臨床実習や講義の受講、及び各地域の病院・薬局薬剤師業務の研修を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い一部のみオンラインで実施した。

<徳島大学>

○ 2020年度 徳島大学薬学部—米国ノースカロライナ大学（UNC）薬学部症例検討ビデオカンファレンス

- ・学部生を対象として、学部間協定校である米国ノースカロライナ大学（UNC）薬学部との交流事業の一環として、ビデオ会議システムを活用し、両校学生によるリアルタイムでの症例検討会を例年実施している。
- ・本年度は、3回のビデオカンファレンスを実施し、英語での症例検討を行うことで、臨床におけるグローバルな考え方の必要性について学んだ。

◇ 参加人数：学部生26名

2) その他（大学としての取組等）

<静岡県立大学>

○ US-COIL：大学の世界展開力強化事業

- ・カリフォルニア大学デービス校健康科学学部の外部講師と薬学部教員による講義をオンラインによる遠隔教育（COIL型教育）により実施した。
- ・本事業は上智大学・お茶の水女子大学との3大学で実施しており（2018～2022年度）、2020年度はカリフォルニア大学デービス校の大学院生及び上記2大学からも参加して、オンラインで実施した。

○ カリフォルニア大学デービス校大学間協定更新記念講演会

- ・カリフォルニア大学デービス校副学長を外部講師として招へいし（コロナウイルス感染拡大によりウェビナーに変更）記念講演会を実施した。

<岐阜薬科大学>

○ ドイツの薬局事情を学ぶ研修会

- ・ドイツにおける薬局・かかりつけ薬剤師の事情を学習するために、日本コミュニティファーマシー協会代表理事の吉岡ゆうこ先生と南ドイツロッテンブルク市で薬局を経営するアッセンハイマー慶子先生を招き研修会を行った。

<広島大学>

○ マレーシアなど海外大学との交流

- ・マレーシアInternational Medical University薬学部など、海外大学との派遣、受け入れ、共同研究などの交流を計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、すべてオンラインで実施した。

<九州大学>

○ 九州地区国立大学法人3大学合同シンポジウム

- ・国際的な創薬研究や医療の発展、保健衛生・公衆衛生の推進に指導的な立場で貢献できる高度先導的薬剤師の育成を図るために、海外連携医療機関での臨床研究に関する研修や薬剤師業務に関するインターンシップ、アセアン諸国における健康環境を探究する衛生薬学研究や感染症対策に関するインターンシップ等を開発・実施に向けて、九州地区の九州大学、熊本大学、長崎大学で合同シンポジウムを開催した。
- ・各大学の海外研修などの取り組みについて情報共有や討議を行った。

<長崎大学>

○ 長崎大学薬学部—ニューメキシコ大学薬学部オンライン交流会

- ・長崎大学薬学部とニューメキシコ大学薬学部のオンライン交流会（UNMCOP-NUSP International Week 2021）を共同開催した。

- ・ 1週間を交流期間とし、双方の大学・薬学部、教育・実習についての紹介を期間中特設ホームページでオンデマンド配信した。
 - ・ ニューメキシコ大学のアンダーソン先生とハンター先生による「ニューメキシコにおける薬剤師の職能」及び「薬学教育のカリキュラム」についての講義、長崎大学の佐々木均先生による「最新の研究」についての講演を英語でライブ配信した。
 - ・ その後双方の大学間で今後の交流について意見交換を行った。
- ◇ 参加人数：1年次学部生45名、2年次学部生12名、3年次学部生21名、4年次学部生13名、5年次学部生7名、大学院生4名

<熊本大学>

○ 米国ニューメキシコ大学（UNM）海外連携教育プログラムの開発

- ・ 学部生及び大学院生を対象として、UNMとの国際通用性の高い薬学学部教育プログラムの開発を行った。